



経営課題3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

港区でも高齢化が進むとともに、一人暮らしの高齢者が増加しています。家族や地域における関わりが希薄化し、高齢者や児童などへの虐待事案も継続して発生しています。

支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の関係者やボランティア、NPO、企業など、地域に関わる多様な活動主体が協働して、地域社会全体で支えていく必要があります。

健やかにいきいきと暮らせるまちづくり



高齢者等要支援者の見守り支援事業 他

支援が必要なお年寄りの方などが安心して暮らせるよう、相談支援や地域の取り組みなどを進める。

1 地域福祉の推進

地域福祉を推進するため、25 年度に各小学校区において策定された「地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）」に基づき、各地域において活動が着実に推進されるよう支援します。

高齢者が身近な場所で相談や見守り、一時的な援助が受けられるように、また必要に応じて専門機関や福祉制度が活用できるように各小学校下地域にコーディネーターを配置して、相談に応じるとともに地域においてつながりづくりや支えあいの活動に参加する新たな人材を発掘・育成します。

子どもの発達・発育が気がかりな保護者に対して心理的サポートや子どもの発達フォローを行うとともに、保護者どうしで相談や情報交換のできる場を設けるなど、保護者への支援を充実します。

高齢者、障がい者、子どもなどに関する相談機能を充実させるとともに、関係機関や地域で活動する団体・グループとの連携強化を図ります。

関係機関と連携し、児童虐待ケースに対応し、的確な支援に向け取り組みます。また、子育て支援サポーターの活動の場を広げ、地域において身近に相談でき、要支援児を区につなげやすい体制を構築します。

1) 地域福祉アクションプランの推進支援 【予算額 一 千円】

各小学校下の地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）の内容が地域で根付き、活動が着実に推進されるよう支援を行います。

目 標	各地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）情報交換会での参加校下：11 校下
結 果	11 校下
自己評価	目標達成

取組実績

・情報交換会実施：平成 28 年 1 月

2) 高齢者等要支援者の見守り支援 【予算額 14,795千円】

様々な福祉制度の狭間にある高齢者等に対する地域による見守りを強化するために、高齢者等の情報を区役所と地域、地域見守りコーディネーターが共有するとともに、地域での見守り協力事業者を発掘します。

地域見守りコーディネーターを区内全11校下に配置し、高齢者等の相談や見守り支援等を行うとともに、要援護者の情報収集や、見守りのための新たな人材や事業者を発掘・育成します。

目 標 見守り協力事業者の登録数：60件

結 果 45件

自己評価 目標未達成

改善策 広報みなと平成28年4月号に見守り事業者の活動についての記事を掲載する。また、既に登録している事業者に対して、改めて事業内容や活動についての研修を実施し活動につなげるとともに、事業者間での情報共有などを通して新規事業者の開拓をめざす。

取組実績

- ・見守りコーディネーターを11校下に配置し、地域の相談や見守り支援等を実施したほか、要援護者の情報収集や見守り事業者の発掘を行った。
- ・要援護者からの相談延べ件数：3,957件、見守りサポーター登録数：300名
サービス依頼延べ件数：2,384件
- ・広報みなと平成27年7月号1面に登録事業者の募集記事を掲載
- ・コンビニや郵便局、商店会に事業説明及び登録依頼を行った

3) 障がい者等にかかる相談支援 【予算額 3,261千円】

障がい者等からの相談に応じて情報提供や助言等が行えるよう、とりわけ障がい特性や支援手法についての普及・理解が十分でない発達にかたよりにある子どもとその養育者が早期に相談が受けられるよう、臨床心理士等による専門的な支援を行うとともに、養育者どうしが情報を交換しあい、また、同じ経験を持つ養育者に気軽に相談できる場の提供を行います。

目 標 「相談できる場を利用したことで不安が軽減された」と答えた養育者の割合：70%

結 果 100%

取組実績

- ・ピアカウンセリング：12回 21人（月1回）・講演を10月に開催し、28人参加
- ・臨床心理士による専門的支援：218人（3月末現在）
- ・港区障がい者相談支援センターにおける相談件数：3291件（3月末現在）

4) 児童虐待の防止の取組み 【予算額 201千円】

要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携し児童虐待ケースの的確な対応と支援に向け確実に進捗管理を行います。また、地域の身近なところで子育てに関する悩みや不安が相談できるよう、これまで養成してきた「子育て支援サポーター」や地域の子育て支援団体、グループと連携し、虐待の発生防止や早期発見、虐待事案への迅速な対応・適切な対応を行います。また、区民や関係機関に対し、児童虐待防止や子育て支援に関する講演会を実施します。

目 標 講演会のアンケートで虐待防止や子育て支援への理解が深まった人の割合：80%

結 果 99%

自己評価 目標達成

取組実績

- ・要保護児童対策地域協議会 実務者会議の開催：14回
- ・子育て支援連絡会開催：12回
- ・児童虐待防止に関する講演会を3月に開催：26人参加



2 区民の健康増進と生活環境の改善

健康づくりについて情報提供や学習機会を提供し、普及・啓発に努めます。

生活習慣病を予防するため、食生活の改善や適度な運動の取り組み方法など、健康的な生活習慣についての啓発を行い、健康づくりを支援します。

区内の健康増進活動を行っている事業者や団体・グループなどと連携・協働して、区民が主体的に生活習慣の改善や健康づくりに取り組む機会や場を提供します。

疾病の早期発見につながるよう、がん検診や健康診査を受診しやすい環境整備を行うとともに、積極的な広報を行います。

ウォーキングなど気軽に実践できるスポーツの普及を促進するとともに、身近な施設における区民のスポーツ活動を支援します。

区内で行われる参加型のスポーツイベントやレクリエーション活動に関する情報を積極的に発信します。

より多くの人にスポーツの楽しさを知ってもらえるよう、プロスポーツなどの高度で魅力的なスポーツにふれられる機会を広げます。

区民ボランティアや地域団体と連携し、花と緑を育てる活動やまちの美化活動を促進します。

関係機関等と連携し、国道 43 号の沿道環境の改善に向けて、公共交通の利用促進など、環境に配慮した取り組みを進めます。

1) 区民の健康増進 【予算額 521千円】

運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の主体的な健康づくりのきっかけとなるよう、これまで養成してきた運動サポーターと協働し、地域において運動・健康づくり講座（運動サポーター地域講座）や健康講座を開催し、区民の健康アップを図ります。

特に 11 月を港区健康月間と位置付け、健康づくりイベントを開催するとともに、健康増進活動を行っている団体やグループ、関係機関、事業者等と連携して、区民が気軽に参加できるような健康づくり支援の取り組みを行います。

目 標 ・健康月間中に健康づくり支援の取組み協力を得た団体、グループ、関係機関等：15 団体以上

結 果 17 団体

自己評価 目標達成

取組実績

- ・健康フェスタ：1 回（708 人）
- ・運動講座（健港プロジェクトX）：2 講座（24 人）
- ・運動サポータータスクアップ講座（区役所内実施）：12 回（延 298 人）
- ・運動サポーター地域講座：5 地域（9 回）

2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上 【予算額 277千円】

区民のがん検診及び特定健康診査の受診率の向上を図るため、休日健診の増加や胃・大腸・肺がん検診の同時実施など、受診の利便性を高めるとともに、国民健康保険加入者を対象に区の広報紙など関係団体の協力を得て、広報・周知を行います。

目 標 区保健福祉センターにおけるがん検診（胃がん）の1回あたりの受診者数：50人

結 果 9回（54人/回）

自己評価 目標達成

改善策 取り扱い医療機関等の協力を得て啓発を強化する。とりわけ特定健康診査については、24区中24番目と低くなった。受診率が低い原因を分析し、関係機関等の協力を得ながら効果的な取組を行う。

取組実績

- ・がん検診実施 26回（うち休日の検診：10回、夜間の検診：4回）
- ・特定健診の実施 10回をがん検診と同時開催
- ・広報みなと等での周知啓発
- ・取扱い医療機関へのポスター掲示依頼
- ・特定健診受診についての出前講座を実施（2回）
- ・港区医師会への受診勧奨依頼（チラシの設置依頼等）
- ・区商店会等へのチラシ、ポスター等の配布依頼
- ・区内未受診者の多い地域へ直接受診勧奨（対象者への郵便での案内）
- ・国保加入者の多い地区へポスティング配布（約4000戸分）

3) プロスポーツなどにふれられる機会の提供 【予算額 ー 千円】

スポーツの楽しさを知っていただけるよう、セレッソ大阪などの協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するなど、高度で魅力的なスポーツに身近に触れられる機会を広げます。

目 標 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200人（年間）

結 果 152人（年間）

自己評価 目標未達成

改善策 従来からの種目・チームにとらわれず、プロスポーツに触れる機会の提供を検討する。

また、区内小学生に無料観戦チケット配付等の企画を行った場合にその利用者数を把握することができないか検討する。

取組実績

- ・6/6：セレッソ大阪 港区民優待デー（57名）
- ・9/23：セレッソ大阪 港区民デー（47名）
- ・10/4：シュライカー大阪 港区民デーを実施（48名）

4) 種から育てる地域の花づくり支援事業 【予算額 1,455千円】

区民自らが種から育てた花を自分のまちに植えることで、自分のまちを美しくする意識の醸成や花に関心がある住民同士の交流につなげます。また、愛着を深めながら自主的なまちづくりへの参加意識を高め、潤いのある美しいまちづくりを推進します。

目標 花づくり広場6か所で植付け管理を行う区民ボランティア数を前年度より5%増加させる。

(目標: 89名)

結果 19.1%増(106名)

自己評価 目標達成

取組実績

・緑化講習会(全5回)の開催: 1回

3 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

世代や性別、国籍・文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力が発揮できる社会をめざすため、多様な学習機会を提供し、人権意識の普及・高揚を図ります。

地域や企業と連携し、さまざまな人権課題についての啓発を進めます。

区役所が関係機関との連携を図り、区民に身近な人権相談窓口としての機能を高めます。

1) 区における人権啓発推進・人権相談事業 【予算額 2,086千円】

区人権啓発推進協議会と連携して、地域に密着した人権啓発活動を実施するとともに、区役所において人権情報の提供並びに人権相談を実施します。

目 標 事業に参加した人に対するアンケートで「人権についての理解が深まった」と答えた区民の割合：80%

結 果 81.2%

自己評価 目標達成

改 善 策 若年層がより参加しやすいテーマで事業を実施するとともに、ホームページ等様々な媒体を活用した情報提供を行う。また、事業の企画にあたっては、講演に限らず音楽や映像の上映等効果的な手法を用いて、新たな参加者の拡大を図る。

取組実績

- ・人権週間事業（街頭啓発等／1回）
- ・人権展事業（展示等／1回）
- ・人・愛・ふれあいプラザ事業（講演等／5回）
- ・人権講座等（講座／5回、講演／1回）
- ・チラシ・情報紙等の掲出：16件
- ・人権相談：随時

